

# 発言通告書（総括表）

平成29年第3回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	桜井議員 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成28年度決算と今後の財政運営について</li> <li>○危機管理対策について</li> <li>○障害者に対する施策の拡充について</li> <li>○国の住宅宿泊事業法(民泊新法)の成立を受けて区としての対応は</li> <li>○マイナンバーカードの現状と今後の対応について</li> <li>○こども施設について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成28年度決算審議にあたり区の姿勢を問う。</li> <li>○28年度決算と区民サービスを低下させない為に今後、財政運営をどのように進めていくお考えなのか</li> <li>○二度にわたりミサイルが日本領土上空を飛行した事を受け、一番近い自治体として区民に何が出来るか。</li> <li>○有事の際の情報提供は区民にとっても大切な事。国、都が持っている道路や河川などの映像を本区でも共有して使えることができないだろうか。</li> <li>○議会からの決議を受け今後どのような整備拡充をしていく計画があるのか。</li> <li>○本年6月9日民泊新法が成立。都道府県に届け出をすることで年間180日を上限として合法的に民泊運用することが可能になった。具体的な基準は今後、政令省令などで決めていくが区としてできる事は何か。</li> <li>○今年、確定申告や公的年金受給者の源泉徴収票にも記載が必要となった。来年1月より預貯金口座へのマイナンバー付番が新たに始まる。</li> <li>○現在の普及率は 問題点は 周知は スタート時は大変な活用が期待されると言われていたマイナンバーだったが、今後の活用について</li> <li>○保育園基幹園の園庭の重要性について</li> </ul>	区長及び 関係理事者
2	たかざわ議員 (千代田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成29年度千代田区一般会計予算に対する附帯決議の進捗状況は</li> <li>2. 安全で快適な千代田区的生活環境に関する条例について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度一般会計予算に対する附帯決議が10項目にわたりつけられた。予算執行より半年が過ぎその進捗状況はいかに。</li> <li>平成14年に千代田区生活環境条例が制定された。15年が経過して改善すべきところはないか。</li> </ul>	区長、教育長 並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第3回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
2	たかざわ議員 (千代田)	3. 教育環境の整備について	現在、九段小学校・幼稚園の改築が進み、お茶の水小学校・幼稚園改築にあたり、協議会が立ち上げられ議論が進んでいる。また和泉小学校・こども園の改築に向けて、調査が進む中、教育環境について問う。	区長、教育長 並びに 関係理事者
3	木村議員 (共産)	1、区長の政治姿勢を問う  2、開発と区民の暮らし  3、区営四番町アパートの建替え計画について	○関東大震災時に数千人にのぼる朝鮮人や中国人が軍や警察、自警団によって命を奪われた。区内でも悲劇はひきおこされた。こうした歴史を繰り返してはならないと、市民団体が毎年実施してきた朝鮮人犠牲者追悼式典に小池都知事は今年、メッセージの送付を見送った。さらに記者会見で虐殺した歴史を聞かれ、「歴史家がひもとくもの」と答えている。区長は、この史実を認めるか。  ○市街地再開発事業の中心は権利変換方式だ。自分の土地の大半を手放し、再開発ビルの床と交換する。しかし、土地は未来永劫残るが、ビル床は年々すり減る償却資産だ。「やがて資産がなくなるのでは」と地権者が不安を抱くのも当然だ。市場原理から生活原理にたった持続可能なまちづくりの探求が急がれる。  ○区内に建設される狭小のワンルームマンションへの区民の不安に応え、指導要綱の改善と条例化を求める。  ○当該住宅は築30年である。区は5年前に「公営住宅等長寿命化計画」を作成し、当該住宅の使用期間を60年間と決めた。その後、1億数千万円をかけて計画的に屋上防水や給排水管の交換工事を済ませてきている。区はその住宅を突然建替えるとした。そのため20億円を費やし仮住宅も必要になっている。この計画に入居者は驚き「もったいない」と声を上げ、その声はいまや区民に広がりつつある。このような税金の使い方について区長は区民の理解を得られると思うか。	区長及び 関係理事者
4	小枝議員 (声)	1、首都高の寿命対策と都心のあり方について	1) 国土交通省と東京都が発表した日本橋を覆う首都高の撤去案(地下化)については、地元日本橋保存会の重鎮からさえも「地下化ではなく撤去を」との声が上がっている。千代田区としても、2020年以降の実施に向けて、将来世代に禍根を残すことのないよう、財政、まちづくり、防災、景観、交通政策等あらゆる観点から最善の判断をすることが望まれる。千代田区は、地元自治体としてどのように調査・分析し、意思表示をするお考えか。	区長並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第3回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
4	小枝議員 (声)	<p><del>2、道路整備のあり方について</del></p> <p>3、千代田区参画・協働ガイドラインについて</p>	<p>2) 国交大臣は「地下化する具体的な形は各方面の意見を聞く」と説明したが、地下化する高速道路の具体的な検討はどこが行うのか。</p> <p>3) 千代田区はこれまでに、国や都と協議をしてきたか。</p> <p>4) 千代田区はどのようなスケジュールで、どこの部署が担当し検討していくのか。</p> <p>5) 千代田区として具体的な要望を出す準備は整っているのか。必要性は認識しているか。</p> <p>6) 財政、防災、景観まちづくり、交通政策として、区はどうみているか。</p> <p><del>8月31日の企画総務委員会集約において、招集挨拶で区長の説明を求めたが、一切触れなかったのはどのようなお考えからか。区長の判断を示す気持ちはあるか。</del></p> <p>区は自ら定めたガイドラインにさえ従って施策を進めていないことが、現在の区政の混乱の原因ではないか。</p>	区長並びに 関係理事者
5	寺沢議員 (紡民)	<p>千代田区の将来像を区長はどのように考えているのか</p> <p>町会・連合町会への区の補助金について</p> <p>ミツバチプロジェクトについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千代田区第3次基本構想が基本計画単年度事業にどのように連動しているのか。</li> <li>・まちづくりの考え方はいかがか。</li> <li>・数字が入った構想は、いつ見直しを図るのか。</li> <li>・団体補助と事業補助への方針は</li> <li>・必要とする提出書類等について</li> <li>・人口増、世帯増のなか、現補助制度についてどう考えているのか。</li> <li>・ネオニコチノイド系殺虫剤使用について</li> <li>・人体への影響について</li> </ul>	区長並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第3回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
6	大串議員 (公明)	「子どもの権利」の視点から！	<p>国連子どもの権利委員会からの最終勧告（2010年6月）は「日本の子どもの多くが親や教師との関係性の貧困のゆえに幸せに生きられないでいる」であった。その後も子どもの置かれている状況は変わらない。子どもの虐待件数は過去最高を今も更新中だ。もうこれ以上、子どもたちを孤立させないとの強い思いが、昨年の、子どもの権利を基本理念とした児童福祉法の歴史的な改正につながったと理解している。そこで、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 共育大綱、共育ビジョンについて 「人と人とのつながりの中で親も子も共に育つ『共育』」を理念とした共育大綱を策定した。関係性の中で育つとした大綱、ビジョンは評価できる。改めて共育大綱、共育ビジョンについての基本的な考え方を問う。</li> <li>2) 子どもの権利を保障するための具体的な取り組みについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>①子どもの権利を保障するための仕組み構築とその仕組みを担う専門職員の養成が課題となっている。現段階での取り組みと今後の予定は。</li> <li>②要支援家庭を対象とした区内ショートステイ事業を提案する。所見は。</li> </ol> </li> <li>3) 児童相談所設置について 区の寄り添い型支援をあくまで基本にし、新たに措置権限も加えた千代田区版の児童相談所を構想する必要がある。設置にあたっての基本的な考え方は。</li> </ol>	区長、教育長 および 関係理事者